

形態意匠の景観形成ガイドライン

景観形成の方針

1. 周辺景観との調和に配慮する

- ・建築物の外観を構成するものは多様であり、建築物の様々な箇所が外観・まちなみに影響を与えます。例えば周辺の景観特性を考慮せずに用いた華やかな色彩や圧迫感が感じられる長大な壁面は、周辺景観に影響を与えます。
- ・個々の建築物の形態意匠が、地域の地形や歴史、地域性に基づいた景観特性を読み取り、周囲との調和が図られているとき、まちなみも自ずと美しいものとなります。周囲のまちなみも踏まえ、良好な景観となるよう、様々な点から形態意匠を検討してください。



落ち着いた雰囲気を持つ住宅地

景観形成の考え方

(1) 周辺景観と調和した形状・デザインとする

- ・建築物の規模や立地条件などによる、周辺景観への影響を配慮して、建築物の形状・デザインの工夫により周辺景観との調和に努めてください。

具体的な方策

- ① 圧迫感の軽減に配慮する
 - 長大な壁面が生じないようにする
 - 崖下からの眺めに配慮する
- ② 意匠のまとまりに配慮する
 - 建築物および敷地全体のバランスに配慮する
 - 建築物の向きに配慮する
- ③ 地域景観との調和に配慮する（形状・デザイン）
 - 落ち着いたまちなみに配慮する
 - 賑わいの連続性に配慮する
 - 敷地の形状や地形に配慮する



和の風情を意識した景観形成が進む通り

景観形成の考え方

(2) 周辺景観と調和した素材・色彩を選ぶ

- ・建築物に使用する素材・色彩は、建物のコンセプトに即して、外壁や外構等に使用する素材の色合いや素材感、建築物全体のバランス等を考慮し、創意工夫して下さい。
- ・一方で、素材・色彩の使い方によっては、周辺景観に大きな影響を及ぼすことがあります。周辺の地域景観と調和に配慮した素材・色彩選びに努めてください。

具体的な方策

- ① 景観を阻害するおそれのある色彩を避ける
 - 原色に近い高彩度の色彩は避ける
 - 真黒・真白は避ける
- ② 地域景観との調和に配慮する（素材・色彩）
 - 落ち着いた地域は、自然になじむ素材や低彩度色・自然色を基調とする
 - 賑わいのある地域は、明るさや開放感を演出する素材を活用しつつ、節度ある色使いに配慮する
- ③ 素材・色彩選びの工夫
 - 全体のバランスに配慮する
 - 素材の色・質感をいかす

景観形成の方針

2. 景観の中で建築物が果たす役割に配慮する

- ・新宿区内には超高層ビル群やみどり濃い住宅地など、実に個性的で多様な景観が形成されています。
- ・こうした景観を細かく分析していくと、地域の景観には、その骨格となる重要な要素（ランドマークや結節点など）が存在し、周辺にある建築物については、その要素との調和に配慮した形態意匠とすることが求められます。
- ・景観の中で建築物が果たす役割に配慮して形態意匠を工夫して下さい。



新宿御苑からの見晴らし景観（パノラマ）

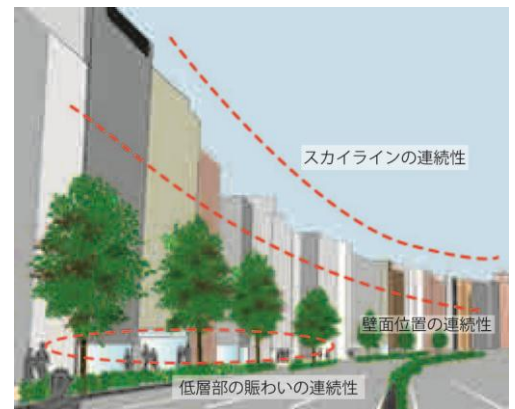
景観形成の考え方

景観上重要な要素に配慮する

景観上重要な要素に近接する場合には、その景観と調和するよう、形態意匠に配慮する。

具体的な方策

- ①面的な景観要素に配慮する
 - 見晴らし景観（パノラマ）に配慮する
- ②線的な景観要素に配慮する
 - 景観上重要な道路の景観に配慮する
 - 崖線や水辺の景観に配慮する
 - 景観上重要な見通し景観に配慮する
 - 車窓からの眺め（シークエンス）に配慮する
- ③点的な景観要素に配慮する
 - アイスストップや景観上重要な都市空間の景観に配慮する
 - ランドマークへの眺めに配慮する
 - 背景を楽しむ景観（借景）に配慮する



道路の景観に配慮する



車窓からの眺め（シークエンス）



借景に配慮した景観形成

設備等修景の景観形成ガイドライン

景観形成の方針

1. 設備等は建築物の一部として計画・設計する

建築物の機能を支える設備や付帯する構造物は、建築物の一部として計画し、デザインすることによって、機能を損なうことなく、周辺の景観と調和させることが可能となります。

設備等を見えない位置に設置する、出来る限り建築物と一体的なデザインとする、あるいは目隠しの設置をする等の工夫をしてください。

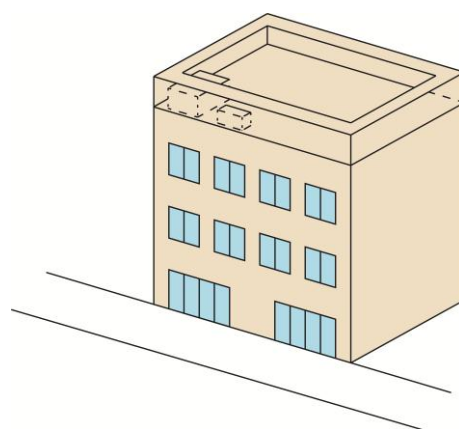
景観形成の考え方

「設備等も建築物の一部」と認識して建築物を計画・設計する

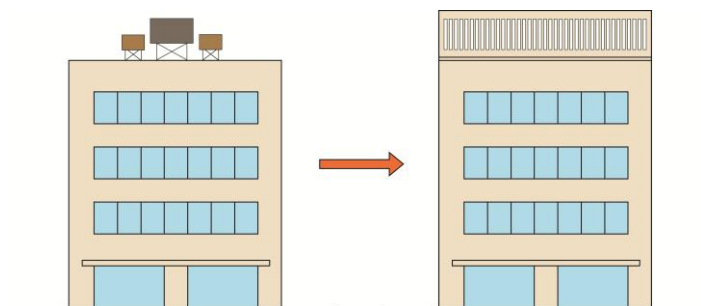
附属する設備等も建築物の一部です。建築物をより活かすため、また、美しいまち並みを守り創るため、建築物の計画・設計段階から設備等も含めた配置やデザインについて十分に検討しましょう。

具体的な方策

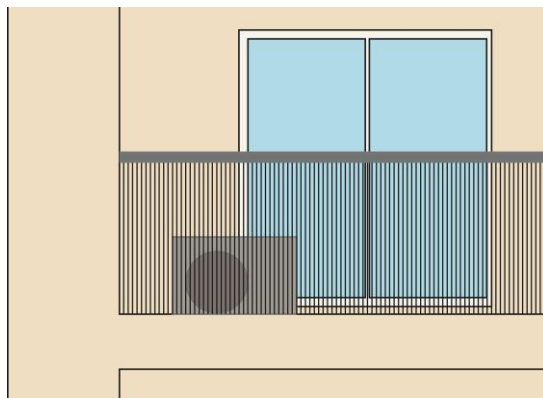
- 建築物等と一体的な印象となるようデザインする
- 壁面に表れる設備・機械類を建物内に設置する
- 配置や形態に工夫し、スカイラインに与える影響を軽減する
- 室外機をバルコニー床置きとする



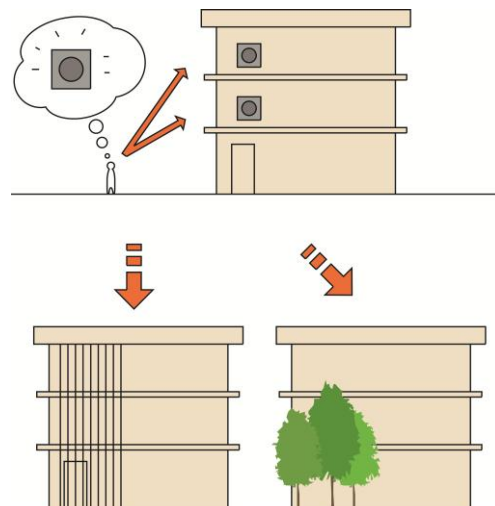
壁面に表れる設備・機械類を建物内に設置する



壁面に表れる設備・機械類を建築物と一体的な印象となるようにデザインする



ルーバーや緑化等による修景



景観形成の方針

2. 変化に富んだ地形などの景観資源、中高層建築物からの視線に配慮する

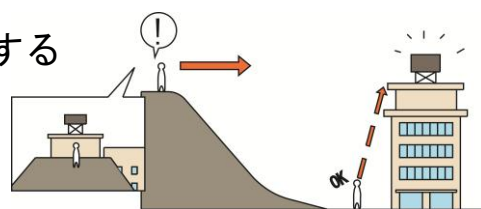
新宿区は、ほぼ南から北へ標高が低くなっていく階段状の地形をしており、多くの由緒ある坂や、視覚変化に富むまちなみを生み出しています。また、西新宿周辺の超高層ビル群や一般市街地においても中高層ビルが多く存在しています。

このような様々な視点から見られていることに配慮し、様々な方法で修景の工夫をしてください。

景観形成の考え方

「変化に富んだ地形からの視線」に配慮して修景する

各建築物においては、歩行者や水平方向からの見え方に配慮をして修景しましょう。



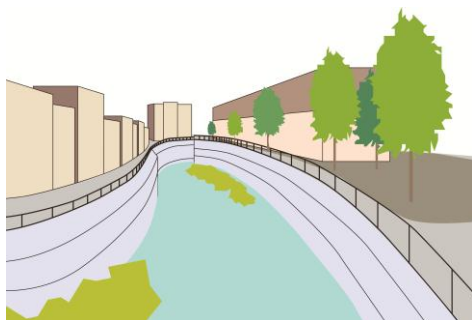
歩行者や水平方向からの設備の見え方



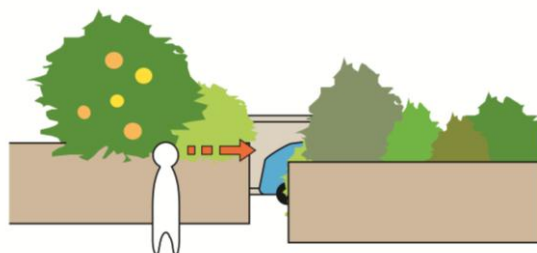
歩行者や水平方向からの視線に配慮する

具体的な方策

- 歩行者や水平方向からの見え方に配慮する
- 植栽を用いて見え方に配慮する
- 神田川・妙正寺川沿いでは橋や対岸からの見え方に配慮する
- 新宿御苑内からの眺めに配慮し、樹木に囲われた景観を保全する



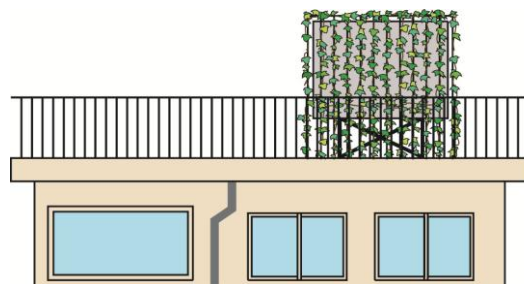
対岸から建築物の裏側がむき出しにならないように配慮する



道路から見える部分を緑化し、歩行者からの見え方に配慮する



樹木に囲われた景観を保全



緑化による修景

みどりの景観形成ガイドライン

景観形成の方針

1. まちの記憶を大切にする

- ・新宿区には、過去から現在にかけて残されてきたみどりが多くあります。これらのみどりを中心とした景観を引き続き後世に引き継げるよう、既存のみどりとつながりを意識した植栽になるよう工夫して下さい。

景観形成の考え方

既存樹木は残す

- ・建築物が建て替わるたび、その地域の景観をかたち作っていた貴重なみどりが失われています。古い樹木や林は、地域の歴史や文化を伝える、大切なみどりの語り部です。地域の貴重な財産として、可能な限り保存してください。

具体的な方策

- 地域の歴史や文化を伝える既存樹木を残す



歴史的な建造物と一体的に残されたみどり

景観形成の方針

2. 地形の特徴を活かす

- ・新宿区の起伏に富んだ地形は、まちなかに多くの坂道を生み出しています。擁壁の緑化等、身近なみどりを増やす工夫をするとともに、遠方からの見え方に配慮して下さい。
- ・地形や立地条件を考慮して、その土地に適した植物を植えるよう努めて下さい。

景観形成の考え方

土地にあったみどりを植える

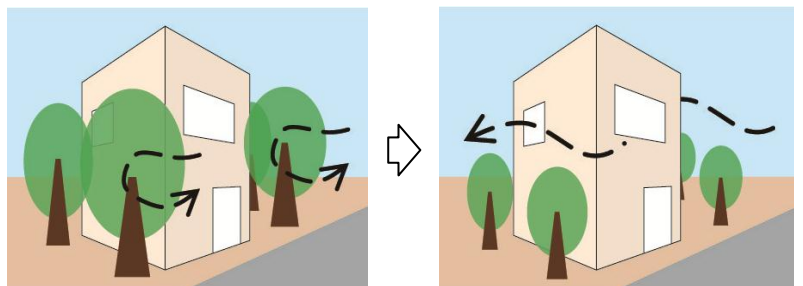
- ・管理がしやすいといった理由で、特定の樹種が植えられるケースが多々あります。樹種の選定にあつては、気候や地形条件、敷地環境に配慮し、風土にあつた樹種、土地に馴染みのある樹種を選んでください。

具体的な方策

- 風土に配慮する
- 敷地環境に配慮する



起伏に富んだ地形の中で織り重なるみどり



通風条件に配慮した緑化

景観形成の方針

3. 地域性を大切にする

- ・新宿区内には超高層のビル群からみどり濃い住宅地など、実に個性的で多様な景観が形成されています。その中に息づくみどりは地域の特徴を引き立てる重要な役割を担っています。

景観形成の考え方

(1) さまざまなみどりを植える

- ・私たちの住むところは、さまざまな生き物や植物が住むことのできる魅力のある多様な世界です。樹種を選定にあたっては、単一樹種にこだわらず、できるだけ多くの樹種を用いてください。

具体的な方策

① さまざまな場所に植える

- 積極的に地植えをする
- 地面や擁壁等を緑化する
- 壁面や屋上を緑化する

② さまざまな樹種を植える

- 樹高や枝張りに配慮する
- 生態系に配慮した樹種を植える



住宅地のみどり

景観形成の考え方

(2) 四季を感じるみどりを植える

- ・季節を感じさせる豊かなみどりは敷地の狭小化、管理上の問題などから年々失われてきました。
- ・春・夏の花々や香り、秋・冬の実りや紅葉など、季節を感じ取ることのできる豊かで潤いのある景観の形成に努めてください。

具体的な方策

- 植栽の姿で季節の移ろいを演出する

景観形成の考え方

(3) まちのためのみどりをデザインする

- ・景観形成に関わるみどりは、その地域の景観をつくるための重要な要素です。
- ・その地域で昔から守ってきたみどりがある場合には、それを後世に継承していくように配慮してください。

具体的な方策

① まちなかでみどりが目に入りやすい景観をつくる

- 道路や公園等の公共空間からの見え方に配慮する
- 人目に付きやすい場所を緑化する
- シンボルツリーの樹種、配置、見え方等を工夫する
- 敷地規模を考慮して緑化する

② 地域ごとの特徴を踏まえたみどりの景観をつくる

- 斜面緑地が織りなす景観を保全・育成する
- 水辺環境に配慮して緑化する
- 和の風情が残るまちを「和風植栽」で演出する
- 地域のまちの記憶にまつわるみどりで演出する
- 地域の土地利用に配慮する

③ 新宿区のみどりをつなげることを意識する

- 歩行者空間のみどりでつなげる
- 大小のみどりを折り重ねて面的にみどりをつなげる



超高層ビル群の中にあるおいを与えるみどり



和の風情を感じさせるみどり